



## ①学生がいな校内 インターネットを利用した新学期

韓国のほとんどの大学では、新型コロナウイルスの影響で 2020 年 3 月 16 日からインターネット授業が始まりました。インターネットによる授業は大体 2 週間を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために、インターネット授業を延長することを決めました。ほとんどの大学では、この延長期間を 4 月中旬や 5 月までの予定としていましたが、大学によりその時期や対策は異なっており、今後新型コロナウイルスの感染状況によって変わるものとして、インターネット授業終了の目途は立っていない状況です。韓国では、感染拡大を防ぐために大学だけではなく、幼稚園を除く韓国全国の小、中、高校も 4 月 9 日から順次インターネット授業を利用した新学期を迎えることになりました。4 月 9 日からは高校 3 年生と中学 3 年生、4 月 16 日からは高校と中学校の 1・2 年生と小学校高学年、最後に 4 月 20 日からは小学校低学年の新学期が始まりました。



さらに、韓国では毎年 1 1 月の中旬に実施される大学修学能力試験も影響を受け、1 2 月に延期となりました。韓国の教育部(日本の文部科学省に当たる)は新学期の開始の延期による学生の学習空白のリスクを最小限に抑えるために教育コンテンツの確保、提供などさまざまな対策を考えています。

## ②韓国、マスク購入に公的マスク曜日制を実施



韓国では、新型コロナウイルスの影響によるマスクの不足を解決するため、3 月 9 日から公的マスク曜日制を実施することにしました。全国民に公平にマスクを配給するために実施され、生まれた年の最後の数字をもとに、決まった曜日に 1 人が週に 2 枚ずつ買うことができます。決まった日に身分証明書を持参し近くの薬局に行けば、必ず 2 枚のマスクを買えます。制度が始まった時は、国民からの不満の声も上がっているようでしたが、韓国政府はマスクの増産や制度の改善などに力を入れた

結果、国民からの好評を得ました。

## ③自粛の時間を少しでも楽しむために



韓国では、新型コロナウイルスの影響で自粛モードが続き、たくさんの人が強制的に家にいる時間が多くなりました。この辛い時期を賢く楽しく過ごすために、たくさんの人が家でできる遊びを工夫しています。そのような中、韓国 SNS で流行っているのがタルゴナコーヒーです。タルゴナとは、日本のカルメ焼きのような砂糖で作ったお菓子のことです。

タルゴナコーヒーとは、コーヒーと砂糖にお湯を注ぎ 400~1000 回ほど混ぜ続けると、まるでタルゴナのような色と味になるコーヒーのことです。カップに牛乳を入れて、その上に混ぜたタルゴナをのせると完成です。砂糖をたっぷり使っても甘いのに、コーヒーの苦さも感じられるので午後のデザートとしておすすめです。

## ④韓国、緊急災難支援金の給付始まる

韓国では、新型コロナウイルスの影響により、経済的に打撃を受けた国民の生活を支援するために、緊急災難支援金の制度が実施されました。韓国の緊急災難支援金は、2020 年 5 月からプリペイドカード、クレジットカード(デビットカー



드), 상품券などで全国民に支給されることになります。支援金は、住民登録世帯を基準に支給され、日本円にすると1人世帯だと約4万円から4人世帯以上だと約10万円まで支給されます。クレジットカード(デビットカード)の場合、カード会社のホームページや銀行の窓口で申請し、緊急災難支援金がポイントとして積み増しされる形になります。申請2日後に一部を除くスーパーや病院などさまざまなところで支援金を使えます。

プリペイドカードや商品券はインターネットや市役所の窓口で申請後、窓口で受け取れます。窓口申請の場合は、混雑を避けるため、公的マスク曜日制と同様に、生まれた年の最後の数字をもとに、決まった曜日に窓口を訪問することになります。ただし、緊急災難支援金は住民登録されている地域限定で使うこと、8月31日までに使わないといけないという条件があるので、現在、韓国の各地では緊急災難支援金を使うために人の行き来が絶えない状況です。3月ごろ新型コロナウイルスの影響により特別管理地域に指定された韓国の大邱市では、現在、大邱市からの緊急災難支援金も受けられるようになっています。

韓国では、今回の緊急災難支援金の支給によりコロナで悪化した経済を活性化させることが期待されています。



## KBT かがしまのお知らせ

### ⑤가고시마 국제교류센터 개관



가고시마시 가지야초(加治屋町) 구 가고시마시립병원의 입체주차장이 있던 자리 지어진 가고시마 국제교류센터(かがしま国際交流センター)가 2020년 4월 1일에 개관했다. 가고시마 국제교류센터는 가고시마시 출신의 이나모리 가즈오 교세라(京セラ) 명예회장이 기부한 20억엔의 자금으로 가고시마현과 가고시마시가 협력하여 착공 및 개관에 이르렀다. 이나모리 가즈오 명예회장은 가고시마의 국제교류의 발전에 쓰이기를 바라는 마음으로 가고시마현과 시에 본 기부금을 전달했다.

가고시마 국제교류센터의 1,2층에는 200명 정도 수용할 수 있는 다목적 홀을 비롯하여 조리실습실, 다다미방, 연수실 등이 있으며 시민들도 이용할 수 있다. (단, 일부 유료시설 포함) 또한, 3층부터 8층까지는 유학생과 연구생들을 위한 주거시설이 마련되어 있다. 국제교류센터는 코로나바이러스 감염증으로 인하여 4월 21일부터 임시휴관 하였으나, 5월 8일부터 이용할 수 있게 되었다. 가고시마 국제교류센터에서는 가고시마시민과 외국인들이 교류를 통해 친선을 도모하기 위한 다양한 이벤트를 실시하고 있다.

(참고) 가고시마시 국제교류센터 홈페이지: <http://www.kiex.jp/>

### ⑥2020년도 초급한국어강좌 시작



2020년도 첫 한국어 강좌가 가고시마시 국제교류센터에서 시작됐다. 2020년 5월 13일부터 6월 17일까지 매주 수요일이며, 오후 6시반부터 8시까지 진행된다. 올해는 코로나바이러스 감염증의 영향에도 불구하고, 다양한 연령대의 시민들이 참가했다. 코로나바이러스 감염증의 대책으로서 강사와 참가자들은 마스크 착용과 사회적 거리를 유지한 상태에서 강좌가 진행된다. 올해의 첫 강좌는 한글을 읽고 쓸 수 있는 학습자를 대상으로 하는 간단한 한국어회화 및 문법, 발음 연습 등을 하며, 다양한 내용과 한국 문화와 K-POP을 소개하는 시간도 가진다.